

理工学研究科 社会開発工学専攻（取得可能免許種:高等学校専修／工業）

VUCAの時代において社会環境を含めた地球環境が大きく変化している中、人間の生活環境に対して的確な問題意識を持ち、社会資本である建設・建築・都市に関して社会環境への適切な対応・行動が必要である。住環境デザイン、建築、都市環境工学学科の上位に位置付けられた理工学研究科社会開発工学専攻においては、3学科を統合した長所を活かし社会資本である建設・建築・都市に関わる各学科の特徴ある高度な専門的知識と技能を修得する科目を提供し、学部で修得した知識をさらに深めるとともに、異なる分野での幅広く深い知識を修得することができる。このことより、社会資本整備に関して、多面的な観点からの見識・思考を有する実践的な技術力と高い倫理観を身につけた即戦力として活躍できる技術者の育成を目指す。

以上の教育方針を基盤として、大学院の教員養成に対する理念の基づき、本専攻科の教育の特徴を活かし、主として以下の点に重点を置きながら課題抽出・解決に際し多面的な見識、思考および高度な専門知識を有する指導力の優れた教員育成を図る。

- 1) 教員として専門技術者の育成に必要とされる計画・構造・設備に関する深く高度な専門的知識を有する人材を育成する。
- 2) 自然、社会に対する幅広い視野と教養を身につけ、地球環境を初めとする社会環境を認識し、技術が人間社会や自然に与える影響および建築・都市工学技術者の果たすべき役割について理解し、社会や時代の要請に応えられる知識と能力を有する人材を育成する。
- 3) 自ら情報収集し、課題を発見し、解を見つける能力を有する指導力のある人材を育成する。

上記の資質を有する教員を養成するため、本専攻科では計画、構造、環境に関わる高度な専門知識を修得する科目を配置し、時代のニーズに応える良質な建設・建築・都市等の社会資本整備に携わることができる能力を身につける。高度な専門知識の修得により、教育において基本となる「教える」ことにとって必要不可欠である深く高度な知識を有し、掘り下げる能力を有した教員を育成する。計画系、環境系、構造系に配置した演習科目においては、実務に即した課題等により実践的能力を身につける。特に、演習科目においては異なる学科教員による特定の専門研究の視点からの指導による多面的な見識・思考能力を養成する。また、基礎科目として数学・物理系の高度な知識を修得する科目を配置し、工業教育を担うことができる教員を養成する。

各科目とも専門科目であり、履修生が少人数であることの利点を活かし、教員と学生との密な指導を推し進め、課題に対するグループディカッション、プレゼンテーションを適宜取り入れ、課題を発見・解決する能力を身につけるとともに、教員としてのコミュニケーションあるいは対人能力を身につける。